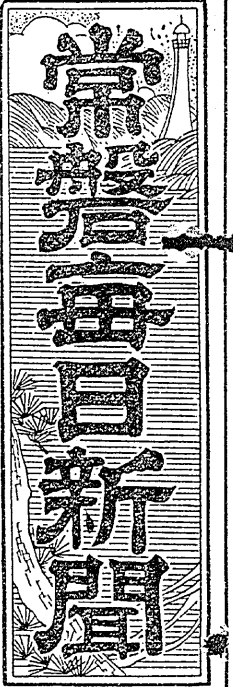


刊夕 日十二月六



定価 一月五元 半年二十五元 一年五十元
 廣告料 五號十二字 第一行 五拾銭
 日曜 祭日 休刊
 發行所 常磐毎日新聞社
 印刷所 常磐毎日新聞社

スポーツと怪俄 (2)

醫學士 大河内 一郎

ひどいになると疼痛を訴へるものもあるが、唯レントゲン像を見ても早計に病的變化とすると間違ひを起します。又よく練習中に拇趾のつけ根やその側方に疼痛を訴へる選手がいます。これは或特殊のレントゲン撮影をしてみると、種子骨といふ豆粒の様な小さい骨が折れてゐる事が有ります。之はスパイクがゆるすぎたり、又は反對にキツイのを履いた時とか、準備運動をよくやらないで、すぐ跳躍したり、或ひは競技場の地面が硬すぎた様な場合に起る事が多い。

然し疼痛を訴へただけですぐその部分に、骨折があると考へてはいけません。たとひレントゲン診断をして種子骨が分れてゐたからとてすぐ骨折とすると誤診する事があります。何故ならば種子骨は先天的にも分裂してゐる人が相當あるからです。之れは専門的になりませうから略しますが、この種子骨骨折とは運動家に相當見られますが、普通の人にはそれ程多くはないものです。

跳躍選手にはよく膝關節の直下に膝の出張りを見る事があります。一九〇三年オースグート、シラツテル氏が發表した病氣で、その人の名を取つて、シラツテル氏病と云ふてゐますが、シヤム時や座る時に痛い。スポーツマンがスポーツ中に疼痛を覺えた際には簡単に捻挫と片づけられない事が往々あります。例へば跳躍選手によく腰痛を訴へるのを見受けます。中にはリチャード氏病といふて第五腰椎の所に骨の畸形があつて痛む様な場合もありまゝ。こんな人は跳躍は中止した方がよい。又しばらく練習を休んでゐて急に再び練習を始め、疼痛が起つて驚いて来る人があります。そんな場合には脛骨の外側にとう痛を訴へるだけで外部から見たのでは何等變化を見受けない事があります。私たちは之れを過勞性骨膜炎と名付けてゐます。

マツサードを施しつつ練習を續けさせます。練習は止めぬがよい。又ランニング選手で、アヒレス腱の部分にとう痛を訴へる事があつてアヒレス腱鞘炎ですこ

の場合も温布を施し、軽く練習は續けさせます。止めるといけません。但し之には専門醫の監督指導をまつ事は勿論です。

この様にスポーツマンの怪俄は、場所によつては醫學常識から考へれば反對じやないかと思はれる様な治療をせねば治らぬ場合が相當ある事は注意せねばならぬ点かと思ひます。スポーツの怪俄で多いものに「肉離れ」といふのがあります。之は筋肉の纖維の一部、又は全部が切れるもので、恩師齊藤博士の御調査によると大學選手の六百人中一〇二人ありました。右足にも、左足にも起ります。

「肉離れ」の場所は多くは大たいの後側でその他前側にも腓腸筋部にも起ります。

◆常磐文藝◆

出 漁

小名 濱男

漁夫のドラ聲潮を段く胸に込むあかどきのしぶき船は波堤にケツ怒する、怒濤を蹴つて進む 三十度の傾斜

あゝすでに茫漠と消える汽笛の哀、切なる……からくも 波戸に立つ 婦女子等のまなこのうるみ

◆女店員募集

年 令……十七、八才以上
 學 力……高等小學校卒業以上
 ▼御希望の方は履歴書持参の上至急来店下さい▼

平二丁目通 日東商會
 電話 四二八番

外科

門 專 光 X
 科 線

上田外科醫院

平 町 南 町
 電話一九二番

感じの良い！
 客に親切な……

藥種賣藥、工業藥品
 衛生材料、各種染料
 化粧品、其他

阿部藥舖

平・田町(松月堂向)

磐城セメント會社特約店

磐城平町五丁目 電話九番九九番
 □良品廉賣に勝る商略なし
 □確實敏捷は〆の生命なり

吉田眼科病院

平紺屋町 電話六八番
 醫學士 吉田 久雄

駿馬のいきさき血は躍る

福島競馬へ!!!

十六日(土) 十八日(月) 二十三日(土)
 十七日(日) 廿二日(金) 二十四日(日)

午前六時出發——午後九時歸着
 會費 金五圓也

晝食と特等入場券進呈
 ▲募集人員 毎日 五名 限り▼
 平驛構内一般貸切 電話三二番

不二タクシー

◎御家庭薬として是非御用意下さい
 熱い火や湯でヤケドなされた時直ぐツケますればヒブクレにならずなほります
 キリ印太乙膏があれば安心です、お試用見本無料で差上げますからどうぞ御遠慮なくいらして下さい。殊にクサにはモットモ良く二、三回ツケればキレイに治ります。

太乙膏

阿康藥舖

平町古鍛冶町一〇
 電話四四番

夏の通學服

- ◇小學用霜降小倉服……………40.00
- ◇" " " 上口……………85.00
- ◇" " " 特製……………1.20.00
- ◇中學用 "……………2.05.00

第二・第三制服も取揃ひました。

ふかや洋服店 平 三 203 電話

慘落を目前に

賣方が市場に殺到

立會に間に合はぬ者二千人

開場二日目の昨日の四倉繭市は出廻りが白繭四千四百三十九貫七百多、黄繭四百二十二貫九百三十多、合計四千八百六十二貫六百三十多で白繭高値二圓六十六錢、低値一圓六十錢、馴二圓四十七錢、黄繭最高二圓三十三錢、最低一圓五十錢、馴二圓十錢、掛目は白繭十九掛、黄繭十八掛であつた、當日

は賣方殺到し立會間に合はず持ち歸つた者二千人に達したといふ同市開場以來のレコードを見せたが相場落を目前に凝視め經費倒れを知りつゝも猶を賣急いであせる養蠶家の必死の姿は悲惨の極みである、尙出廻り最盛期は明二十一、二の二日間と見込まれてゐる

繭を保管し

養蠶家擁護

空前の慘落に

期待絶望して

縣下のトップを切つて去る十八日開場された四倉繭市場初日相場は白繭平均二圓三十六錢、黄繭平均二圓二十四錢といふ空前の慘落ぶりを示し養蠶家の期待は全く絶望化したので縣では繭共同保管施設を断行、養蠶

家は擁護することになつたが石城郡下は左記二ヶ所の倉庫で合計七千五百貫を保管する筈である

石城販賣利用組合農業倉庫(四、五〇〇貫) 大浦信用販賣購買組合(三、〇〇〇貫)

投資防止に

重要な役割

共同保管の趣旨を普及

別項一愈々實施される共同保管に就き平蠶業取締支

所では趣旨の徹底と十分な効果を収むべく今二十

同保管は繭の投資りを防止し繭取引の圓滑を期し併せて繭價の維持を圖る爲養蠶實行組合の行ふ繭共同保管に對し乾繭料、保管料、金利等の實費に充當の爲生繭一貫目につき左記獎勵金を交付するものであるといふ保管期間三ヶ月未満二十錢 同三ヶ月及至六ヶ月二十五錢 六ヶ月及至九ヶ月三十錢 九ヶ月以上三十五錢

郡下各養蠶實行組合に對し保管施行に關する注意並に養蠶應急資金融通に關し長文の注意書を發したが繭共

北海道移住の

自作農を募集

平町では縣當局からの指令により北海道移住自作農希望者を募集することになつたが右資格者は多年農業に従事した成年以上の男女、家族を同伴して永住土着の意志を有し移住資金三百圓以上を有する者で締切は八月末である

悪水組合

残務整理

平町外二ヶ村より成る新川悪水豫防組合では新川改修工事完成に依つて所期の目的達成された爲め事實上解消されたが明二十一日午後一時から平町會議室で最後の總會を開き残務整理を行ふと

青訓出席人選

來月十日から四日間縣主催で若松歩兵廿九職隊内に開催される縣下青訓主事講習會には本郡より五名の出席者を

平第一校參觀 双葉郡大野村小學校訓導龜田留次民外六名の職員は本日平第一小學校を參觀した

借入金金の調査 唯野平稅務署長は昨十九日仙臺稅務出張所預金全部員ととも平町役場を訪問公共團體普通事業資金借入に關する調査を行つた

平商實彈射擊 平商業學校五年生六十餘名は本月卅日同校を出發神谷村射擊場附近に野營一泊の上翌七月一日實彈射擊及び教練を行つて歸校する

平職業紹介所報告

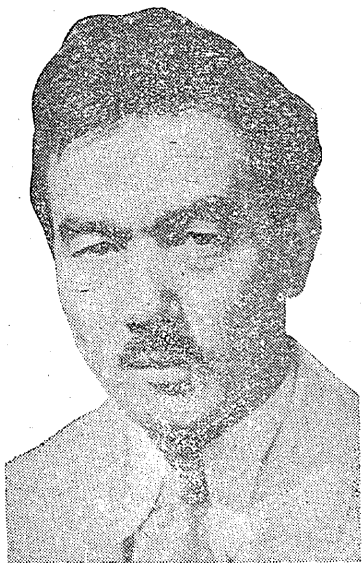
回人を求める方

- △農夫 二十一—三十才位 給料面談
- △女中 十八—三十才位迄 尋卒 月四五圓位
- △商店雜役 二十一—二十五才位 日給六十錢程度
- △農夫 二十才—三十五才位 月十圓程度
- △農夫 二十一—二十五才位 日給七十—八十錢位
- △炊事婦 十八—四十五才位 尋卒 月五圓
- △鍛冶工見習 二十一—三十才位 尋卒 月十圓位
- △紙箱製造 二十才 高卒
- △給仕 十五才 高卒
- △事務員 二十四才 平商 二年修
- △建築技師 五十一才 東京工科校建築科卒
- △外交員 二十一才 高卒
- △女中 十六才 高卒

仲裁人が憤慨して 出刃庖丁で斬る

去る十六日夜小名濱町字上町の路上で漁夫の川野市松(三三)同鈴木米四郎(三三)の兩名が喧嘩をして居たので漁船機關手雪永長四郎(三三)が仲裁に入つた處仲裁の仕方

が氣に入らぬとて市松が喰つて掛つた爲め長四郎は憤慨し附近民家から出刃庖丁を持ち來り市松の面部に斬付け重傷を負はせた事發覺けふ平署にて關係者取調中



偉大なり! 野口英世博士の映畫化

阿弗利加奥地に猛獸毒蛇人喰人種と闘ひ催眠病研究の尊き犠牲となりし博士を主題とせる萬代不朽の名篇……我等福島縣人の誇り……博士は會津翁島の出生なり



平 舘

電話四六四

六月二十一日より 堂々公開 特別大興行

高月臺附近一帯は

往古頗る繁華の地

一中學生の採集古器から

遺跡確めらる

磐中四年生酒井英生君が過般同校庭に於いて採集した土器石器等の鑑定を山口馨女教諭の手を介して東大人類学教室の八幡博士に送つた處昨日山口教諭宛左記回答

高杯壺等の土器は大略原史時代のものと判せられ普通植部土器等の名で呼ばれるもので凹みの澤山ある石器は其等より古い物である事は疑ひもない事だ高月臺附近は幾つかの時代の遺跡が重復して

居る爲めであらうに接したが右に就いて山口教諭は語る

八幡氏は以前泉附近の貝塚發掘の際平附近に一度參られた事があり關西奥羽の接攘地として懐古的に面白い地域とされて居ます、右の解答に依りますと少くとも石器時代原史時代の古い二時代に相當人類が生息した遺跡が高月臺に有る事が明かとなりました

慈雨豊かに

農家は蘇る

水饑饉緩和され

けふは天気祝ひ

近來稀有の「から梅雨」に水饑饉を告げ田植を控へ乍ら農家の憂慮憔悴は言語に絶するものあつたが今曉降り初めた雨は正午頃に益々猛烈を極め昨日の好晴に反して夏井川、新川、古川等満々たる濁水が奔流してゐる玉川、小名濱地方の田植不能の騒ぎも目度く解消す

るであらう、沛然たる雨に農家は漸やく安堵の色を示しけふは休暇の姿で天気祝だ、正に一滴千金の雨よ！この雨に農事試験分場では語る

けふの雨は今曉三時四十分五分頃から降り出したが午前十時現在の本場調査に依ると坪當り三斗八升

六合一勺でこの雨足では夕刻迄に七斗乃至八斗位に達する見込みである去る十六日の雨とこの雨で當地方の耕地も蘇返り玉川方面の水饑饉も大體緩和されたからこの雨の上り次第早速田植を開始出来得やう、但しこの調子

血塗れ亂闘

兩者圓滿和解

平署に嘆願書

新入生の入所式舉行

平町青訓で

十七日夜内郷村で香具師と大亂闘を演じて瀕死の重傷を負せた東京明石劇團俳優英正三郎事林健二(三)外八名はその後平署で取調べ中であつたが林を始め志賀隆(三)山本勇一郎(三)佐藤勝治(三)の四名を傷害罪として近く送検する筈であつた處平町十五丁目興行師小關小四郎は被害者側、また平町材木町興行師風戸秀雄、同六丁目鈴木克好の兩名は加害者側の代表となり兩者の和解に斡旋して圓滿解決したから何分寛大な御處分を願ふ旨の嘆願書を今二

十日平署に提出した

平青年訓練所が既記の如く役員指導員の總出場に依つて募集した晝間廿三名、夜間廿八名の新入生入所式は夜間部が来る廿一日午後七時半より役場會議室晝間部は廿三日午前八時半より第一小學校に舉行されると

山田電話開設 山田村役場では去る十八日から植田局百十六番の電話を開

百圓を寄附 飯野村

明日のラジオ

今晩の部
後六〇〇 子供の時間
名作物語「家なき子」四
東京放送児童研究会
後六二五 ことばの講座
十一 東條操
後八〇〇 ラヂオドラマ
母に生さる (清水昭一)

今晩は南の風明
日は南西の風曇

前六、三〇 基礎獨語講座
(三二)橋本忠夫
前七、二〇 聖典講義(四)
文學博士 小柳司氣太
前九、一〇 料理献立 佐藤百合子
前一〇、三〇 家庭婦人講座「版染種々」福島義郎
後〇、〇五 俚諺 佐藤芳水外
後二、〇〇 家庭大學講座「現代文の鑑賞」小山龍之助
後六、〇〇 子供の時間
お話 林子平 小松郁雄

後六、二五 公民常識講座
裁判所仙臺區才判所 監督判事 上野魁春
後七、三〇 講演「銅に就て」東北帝大教授 工学博士 池田謙二
後八、〇〇 民謡 京城より 姜石燕
後八、三〇 管絃樂 日本放送交響樂團練習所より 中繼
後九、〇〇 俚諺「田植唄大會」東北六縣

鯉が下落

一尾三十錢

過般來出動中であつた小名濱町指導船警城丸は此程四週間の航海を終り歸港、ピン長鮪三千、鯉一萬尾を水揚げしたがピン長は一尾一圓、鯉は一尾三十錢で取引された

南町小火

竈の下始末

十九日午後五時頃平町南町料理店入船事服部セツ(四)方風呂場から突然發火したのを附近民が発見大騒ぎとなつたが大事に至らず消し止めた、原因は竈の不始末から、損害二十圓

窃盜犯捕る

餘罪ある見込

住所不定石巻市本町二六生れ無職堺武雄(三)は十六日夜小名濱町定西小野仲夫方の留守を奇貨として忍び込み黒靴(價格八圓)バナマ帽(二圓五十錢)現金三圓を窃取し十九日泉村附近を徘徊

警察部長を迎へ

古強者が柔剣道の試合

平署外部下二ヶ署を巡閱のため今二十日來平の筈であつた渡部警察部長は都合により明日午前來平と變更した、向平署では渡部長巡閱に際し柔剣道試合を行ふことになつたが剣道は小林次席警部補以下幹部級をも動員し四十餘名の全署員が紅白に分れて決戦を交へるもので平署内の最年長者橋久田巡查部長、往年の剣士渡部兩警部補の太刀先の鋭さぶりが期待の的となつてゐる、剣道は最高者から三等まで、柔道は二等までに賞品を授與し尙巡閱の事務優秀者四名に對しても賞品を授與すると

蠶室から失火

蠶室から失火

村字山田小口字三吉氏方養蠶室から去る十八日午後十時半頃發火、居室物置等四棟を全焼したが原因は養蠶室の燧燻の過熱からで損害は約千圓であると

裁判所たより

△湯本町字向田居住賭博前科四犯越智新一(四)賭博一犯小名濱町字定西渡邊大五郎(三)の兩名は賭博常習犯として本日平區裁判所に於いて香西判事係り吉岡檢事立會のもとに公判開廷、檢事より越智は懲役五ヶ月、渡邊は三ヶ月を求刑された言渡は廿一日

近斬首頭

(禁野上及上段)

田邊南龍(作)
山本英春(書)

六二

ビツクリした彌市

其の夜は鴻巣に一泊いたし、翌朝また日の出ない内に宿を立つたが、四里八丁の熊谷の堤、彌市は馬に乗つて、供の男が其の脇に付き、馬方と馬鹿話をしながら彼の堤の半ばまで掛つて参りました、實に彌市の一命は風前の燈火でございま

す此方は權八、本目、竹永の二人に向つて
『三人が之に揃つてをると彌市の爲に疑はれる故、拙者一人是に控へてをつて彼に油断をさせて置いてやつて了ふ、然し萬一仕損じた場合には御兩所向ふの稻村の影に隠れてをつて、やつて下さい』

『委細承知しました』
そこで二人は稻村の蔭へ行つて了ふ、權八は只一人松の根方に腰を下ろし、笠を傾け、旅人の暫し休息をしてゐるといふ體、處へ鈴の音をさせながら、彌市の乗つた馬が近付いて來た、權八はふと心付いたといふ體で立上り
『之は彌市殿只今お戻りでございますか』
聲を掛けられて彌市は驚き、馬から下りて笠を取つて、之は平井様、昨日は禮

いたしました、どうして此處へ』
『イヤ同藩の内、朋輩に不義理をして遂電いたした者がござるので、引戻さん爲後を追つて参つた』



歸國なされ』
『有難う存じます、貴方様も御無事……夫では御免』と笠を被り、馬に乗つて二、三間行過ぎるのを、權八ニヤリと笑つてバタ／＼と駆寄る彌市がヒヨいと振向く處を、抜き打ちにサツと斬つたから堪らない筋斗打つて馬から落ちる、驚いたのは供の馬と馬方『人殺しッ』
と云ふと逃げ出すのを、追掛けた權八、供の男は右

て了つた、其の間に權八は彌市の懐中から、胴巻をズル／＼引出して己の肌に着け、財布も取つて首に掛け本街道を行けば追手が掛ると思つたから、峠道をドン／＼と逃げ出した、竹永、本目の兩人もその後を續いて逃げ出した、處が彼の馬方は、近邊の農家へ飛んで來て
『追刺だア、人殺しだ、みんな來い』
と怒鳴つた、百姓達は丁度これから野良仕事に出掛けやうといふ處だつたから『ソレ行けッ』
といふと、鋤、鍬、真鍮を擔いで大勢が繰出して來た
『茂十や、早く來い、何をしてゐるだ』
『待てよ、今蓆旗こしれえるだから』
『馬鹿な事をこけ、一揆ぢやアねえぞ』
とワイ／＼言ひながら三人の後を追つ掛けて來る。

と口から出任せだが、誠にらしく云つた
彌市は別段怪しみもせず『左様でございますか、夫はどうも御苦勞様、貴方お一人で』
『イヤまだ外にも大分参つたが先へ参つて此處には拙者一人だ、彌市殿堅固で御

の肩から袈裟掛けに斬つて落した、馬方は土手から下へ轉げ落ちて土手下を駆出した、此方の稻村の影に隠れてゐた竹永、本目の兩人馬子の近寄るまで待てば宜いものを、ギリリ引抜いて飛出して來たから、馬子は驚いて横手にそれて逃げ

新 鯉節漬

魚問屋

最優最良 日本生命平代理店
志賀盛榮
平四丁目(電話二一三)

看護婦急派

の求めに應じます
平町南町
電話三〇七

吸入用酸素純度99%

度量器 温度計
秤ノ取緒・垂糸・修繕致シマス
寒暖計

關内藥局

電話四〇番
寫真材料一式販賣致シマス

薄焼 とうふ重

おなじみの魚清

賣始めました。
どうぞ御用命を……

かばやき	五十錢
うな重	五十錢
うな井	三十五錢
うな巻玉子	二十五錢(二人前)

◎多量御注文の際は御相談に應じます
平二番察目通り
魚清食堂部
原庄六三三番

◎アイスクリーム(十錢)始めました
◎出前持至急入
◎希望者へ来店アレ